

17-8 カムイユカラ

「イワンレクトウシペ (ノペ)」

六つ首の化け物

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=nope
V=ノペ

V ランマ カネ いつも
V ramma kane

V カッコロ カネ 変わりなく
V katkor kane

V オカアニケ 私は暮らしていたが
V oka=an h_ike

V エ…… シネアント タ ある日
V e... sineanto ta

V プヤロンネ ヒ 窓の方に
V puyar onne hi

V クルンクルン 影がさした。
V kurunkurun

V インカラナクス (そちらを) 見ると
V inkar=an akusu

V エヌノヤ セコロ シジュウカラと
V enunnoya sekor

V アイェ チカッポ
V a=ye cikappo

呼ばれる小鳥が

V プヤラ シクラブ
V puyar sikrap

窓の縁を

V トクパトクパ
V tokpatokpa

つつきつつき

V リシパリシパ
V risparispa

むしりむしり (するのが)

V エネ ネ ペコロ
V ene ne pekor

こう言っているかのように

V アヌ ヒ タシ
V a=nu hi tasi

聞こえたのは

V 「イワン レクトウシ ペ
V "iwan rekutus pe

「6つの首を持つ者が

V エコエク キ ナ。
V e=koek ki na.

お前 (のところ) に来るぞ。

V ホクレ キラ
V hokure kira

さあ逃げろ、

V トウナシノ キラ」
V tunasno kira”

早く逃げろ」

V セコン ネ ペコロ
V sekor_ ne pekor

と (言う) かのように

V アヌ フミ アン
V a=nu humi an

聞こえる音がした

V キ ヒ クス V ki hi kusu	ので
V ホカ ノシキ タ V hoka noski ta	炎の真ん中に
V ヤモッカヨ V yam okkayo	栗男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V ソ ノシキ タ V so noski ta	座席の真ん中に
V ヌ…… ルウエ ケム オッカヨ V nu... ruwe kem okkayo	太針男を
アヨコレ a=yokore	仕掛け
V プヤロツ タ V puyar or_ ta	窓のところに
V ソヤ オッカヨ V soya okkayo	蜂男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V オンタロ オツ タ V ontaro or_ ta	樽のところに
V アムシペ オッカヨ V amuspe okkayo	蟹男を

V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V アパ サム タ V apa sam ta	戸のそばに
V イユタニ オッカヨ V iutani okkayo	杵男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛け
V エトゥ カ タ V etu ka ta	屋根の棟木が張り出した上に
V ニス オッカヨ V nisu okkayo	白男を
V アヨコレ V a=yokore	仕掛けて
オカアナワ oka=an awa	いると
V ソンノ ポカ V sonno poka	聞いたとおり
V イワン レクトウシ ペ エク ハウエ エネ オカ ヒ V iwan rektus pe ek hawe ene oka hi	6つの首を持った者が来る音はこのようだ。
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V サケハウキレ V sakehawkire	サケハウをさせて

V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ハハセレ ^[1] V hahasere	息をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V ポンペチシテ V ponpeciste	子どもの泣き声をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V イハワシケレ ^[2] V ihawaskere	子守歌をさせて
V シネ レクチ V sine rekuci	ひとつの首には
V チャランケレ V carankere	談判をさせて
V シネ レクチ マケ タ ハワナ? V sine rekuci mak h_e ta hawan y_a?	ひとつの首は、なんと行ったかな? ^[3]
シネ レクチ sine rekuci	ひとつの首には
V マケ タ ハウエアナ? V mak h_e ta hawean y_a?	なんと行ったかな?
V ペウタンケレ V pewtankere	危急の叫びをさせ (ながら)

V アラキ ハウエ V arki hawe	来る音が
V コクルラッキ V kokururarki	響き渡る
V キ ヒ クス V ki hi kusu	ので
V シネ キニツ ネ V sine kinit ne	一本のカヤの茎に
V ヤイカラニネ V yaykar=an h_ine	私は化けて
V アナナワ V an=an awa	いると
V オロ タ アラキ ヒネ V oro ta arki hine	そこに（6つ首の者が）来て
アペ エトク ape etok	火の前に
V コイサンコッカ V koysankokka-	ひざを揃えて
V エシッチウレ V esitciwre	座り
V エネ イタキ V ene itak h_i	こう言った。
V 「タップ タシアン マアヌカラ ワ エカナ プ V “tap tasi an w_a a=nukar wa ek=an a p	「ここにいるからこそ、見に来たのに

フナクン アラパ？」 hunak un arpa?”	どこへ行った？」
V セコリタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ホカ ノシキ V hoka noski	炎の真ん中を
V ポイエポイエ アクス V poyepoye akusu	かき回すと
V ヤム オッカヨ V yam okkayo	栗男が
V チパツケレ V cipatkere	はじけて
V ウナ ラヨチ V una rayoci	灰の虹
V アペ ルヤ…… ラヨチ V ape ruya... rayoci	火の虹が
V キ ア クス V ki a kusu	かかったので
「ハイ、クシキ」 “hai, ku=siki”	「ああ痛い、目が」
V セコロ イタク コロ V sekor itak kor	と言いながら
V ホマコチウエ キ アクス V homakociwe ki akusu	後ろに下がると

オソロホ ルウェ ケム オッカヨ オツケ ア クス
osoroho ruwe kem okkayo otke a kusu

その尻を太針男が突いたので

「ハイ、 コソロ」
“hai, k=osoro”

「ああ痛い、尻が」

V セコロ イタク コロ
V sekor itak kor

と言いながら

V プヤロツ タ アラパ アクス
V puyar or_ ta arpa akusu

窓のところに行くと

ソヤ オッカヨ
soya okkayo

蜂男が

V チョッチャ ア クス
V cotca a kusu

刺したので

V 「ハイ、クサパ」
V “hai, ku=sapa”

「ああ痛い、頭が」

V セコロ イタク コロ
V sekor itak kor

と言いながら

V オンタロ オツ タ アラパ アクス
V ontaro or_ ta arpa akusu

桶のところに行くと

V テケ アムシペ オッカヨ オロ ワ アクパパ ア クス
V teke amuspe okkayo or wa a=kupapa a kusu

その手を蟹男に挟まれたので

「ハイ、クテケ」
“hai, ku=teke”

「ああ痛い、手が」

V セコロ イタク コロ
V sekor itak kor

と言いながら

V ソイエンパ アクス 外に出ると
V soyenpa akusu

V イユタニ オッカヨ オロ ワ アオツケ アクス 杵男に突かれたので
V iutani okkayo or wa a=otke akusu

「ハイ、クイツケウエ」 「ああ痛い、腰が」
“hai, ku=ikkewe”

V セコロ イタク コロ と言いながら
V sekor itak kor

V ソイエンパ アクス 外に出ると
V soyenpa akusu

(ここから散文語りになる)

カシ ウン ニス テレケ ヒネ 上から白男が跳び下りて
kasi un nisu terke hine

アヤク ワ トウ ライ ウェン ラ (イ) ^[4] ワ イサム
a=yaku wa tu ray wen ra(y) wa isam
潰されて、ひどい死に方悪い死に方をしてしまった

フンタ ハウエアナウエ ネ? (?)
hunta hawean h_awe ne?(?)
誰が言った話だろうね?

ネ キラ プ アナク フンタ ネ ヤ イタカウエアシ エネアン (?)
ne kira p anak hunta ne ya itak h_aweas ene an(?)
その逃げたやつが誰なのか、話したって言う、このような (?)

いたずら話か。うん? うん?

クヌ ネアプ スイ クイエ アアナウエ ネ(?)^[5]

ku=nu neap suy ku=ye aan h_awe ne(?)

私が聞いて、それをまた言ったんだよ。

(フチ：ウエイ ユク、だべし)

(フチ：wen_yuk、だべし)

(フチ：悪い熊でしょう)

ウエイ ユク

wen_yuk

悪い熊

【注】

- [1] ハハセレ hahasere は haha 「ハーハー (擬声語)」 se 「～という声を出す」 -re 「～させる」なので、直訳は「ハーハーと言わせる」。この物語の解説 (17-9) で「息をす」と説明されていることを参考に訳をつけた。
- [2] イハワシケレ ihawaskere は i- 「それ」 hawas 「声がする」 -ke 「～させる」 -re 「～させる」と考えられるが、この物語の解説 (17-9) では「子守歌」と説明されている。
- [3] ここからの3行は物語本文ではなく、語り手による独り言。6つの首にそれぞれ何をさせているかを思い出している。
- [4] wen ray の y はあまりはっきり聞こえないが、文脈から補って解釈した。
- [5] この行の「私」は語り手である鍋澤ねぶき氏のこと。